令和元年度 柏谷区総会

令和2年4月12日(日)、柏谷公民館2階ホールにて、令和元年度柏谷区総会が開催されました。今年はコロナウイルス対策のため、出席者を新年度の組長と出席を希望する区民に限定し、旧年度の組長や来賓、その他関係者の方には出席を見合わせていただきました。会場も、椅子の間隔を大きく開け、換気のため窓も全開にして行いました。総会の資料も、事前に新旧組長の自宅へ郵送し、あらかじめ目を通しておいていただくことにより、事務局からの説明も最小限とし、総会開催時間の短縮を図りました。これらのこともあり、須藤議長の進行のもと、総会の議事はスムーズに進み、第一号議案から第四号議案まで、満場一致で承認されました。

開会の挨拶をする三田区長

第一号議案の事業報告では、令和元年度の三田区長から、平成から令和へと変わる時代の節目となったこの一年の各事業や出来事について報告がありました。令和元年度については、台風のため予備日での開催となった納涼祭、朝方まで雨の残った体育大会、日本各地に大きな被害をもたらした台風19号直後の例大祭など、難しい判断を迫られる場面もありましたが、函南東中学校を主会場とした県との合同総合防災訓練や消防団第六分団の操法大会出場など、様々な行事や出来事のあった柏谷区の令和元年度を振り返りました。

第三号議案の説明をする奥田区長

第三号議案、柏谷区申し合わせ事項については、令和2年度の奥田区長から説明がありました。昨年度は、役員報酬、ごみ置場設置等に関する補助事業の新設がありましたが、今年度は字句や言い回しの見直し程度で、大きな変更はありませんでした。

受付では、非接触体温計で出席者の体温をチェックしました。

「令和２年度柏谷区申し合わせ事項」より（抜粋）

◆ 祭典当番組

日枝神社(例大祭、風祭、感謝祭、除夜祭元旦祭、祈年祭)
29・30・31組
(次年度 32・33・34組)

白雲庵　(あたごさん)
47組　(次年度 46組)

八坂神社(お天王さん)
式典以外の中止が決定したため、今年度の当番組は、次年度へ持ち越しとなります。
(次年度 36・37・39・55・57組)

◆ 消防施設等の設置

負担金は、町70％、区10％、当該組20％とします。

◆ ごみ置場の設置・改修

町の補助に加え、設置等に要した経費の10％(10万円を限度)を区が補助します。

◆ 生活環境等向上小規模事業

各組が独自に実施する生活環境向上のための事業については、事業費の半額(3万円を限度)を区が補助します。

◆ 街灯の維持管理

各組の街灯の維持費・電灯料は組負担とします。ただし、区負担分は従来通りとします。

◆ 犬猫等の飼育

畜犬類の飼育は他人に迷惑を及ぼすことのないよう、糞尿の始末を特に留意してください。

◆ 小枝打ち等

道路及び隣接地の木立等は他人に迷惑を掛けないよう、小枝打ちをしてください。排水ます等は各自で十分管理してください。

◆ 開発委員会

区内に於いて開発行為「営利を目的とした2戸以上の建物又は、500㎡以上(駐車場等含む)」を行う場合は、開発委員会の承認を得てください。

◆ 区民の弔慰給付

区民が逝去した時は香料として一人当たり3,000円を支給します。

※詳しくは、区役員に問い合わせください。

寺尾坂の工事が終わりました

昨年から行っていた寺尾坂の道路改良工事が完成し、以前の狭くて暗い坂道が、見違えるほど広く明るくなりました。

しかし、寺尾坂の工事はこれで終了ではなく、町道柏谷20号線(湯～トピア方面から修禅院、養源寺方面へ続く道)と町道仁田66号線(寺尾坂上端から坂を下り仁田方面へと続く道)が分岐する寺尾坂周辺の道路改良工事は、順調に行けば、今年度、来年度と工事を行い、より安全で通行しやすい交差点に変わる予定です。

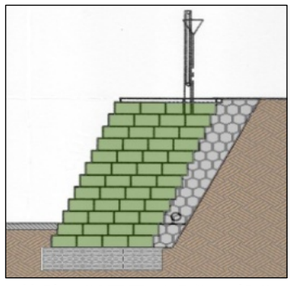
少しユニークな擁壁です！

ところで、今回の工事で造った擁壁(土留め壁)は少し変わっていて、連続した半円形を斜めに重ねた、少しユニークな形状をしています。

これは、ジオセル工法(擁壁を造る工法の一つ)といって、国土交通省の新技術情報提供システム(NETIS)にも登録されている信頼性のある工法です。新技術といっても、かなり以前から全国で使われている実績豊富な工法のようです。

この工法は、ビニールの一種である高密度ポリエチレン(HDPE)の細長いシートを加工したハニカム状(蜂の巣状)のすき間に、砕石を詰めて締め固め、少しずつずらしながら何層、何十層にも積み重ねて、擁壁(土留め壁)を造っていきます。寺尾坂の一番高いところは5mを超えています。ジオセル工法は、コンクリートを使わないため、工事がやりやすく、従来の工法に比べ短い期間で擁壁を造ることが出来るそうです。

今回は、植物による壁面の緑化は行わないそうですが、積み重ねた半円形の砕石の部分からは、やがて野の草花が生え、自然の斜面のように、だんだんと緑豊かな擁壁に変わっていくことでしょう。



擁壁の断面図（緑色の部分がハニカム状の高密度ポリエチレンシート）

上の写真が広げる前の高密度ポリエチレンシート(HDPE)です。そして、これを広げると下の写真のようにハニカム状（蜂の巣状）なります